

令和3年度 宮城県の歯科口腔保健事業の 取組状況について (健康推進課)



妊娠期における歯科保健対策事業

■ 事業目的

妊産婦等を対象とした歯科口腔保健に関する普及啓発冊子を増刷し、産科医院、助産院、市町村の関係機関を通じ配布するもの。

■ 実施主体 宮城県

■ 事業実績 12,000部増刷し、市町村、保健所、産科医院、助産院等に配布。



宮城県歯科保健大会

■ 事業目的

家庭の中で歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を広く県民に啓発することを目的とする。

■ 実施主体 一般社団法人宮城県歯科医師会・宮城県・宮城県教育委員会

■ 事業実績 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりHP公開等により実施

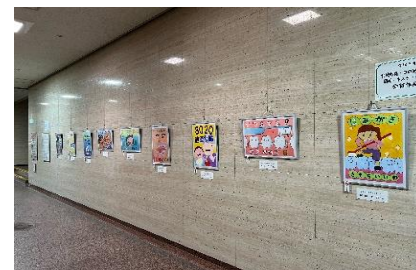
- ・ 特別講演動画の公開（11/1～11/30 宮城県ホームページ）

「ウィズコロナ時代の歯科保健」

東北大学大学院歯学研究科教授 小坂 健先生

- ・ 令和3年度宮城県歯・口の健康に関するポスター及び標語コンクール受賞作品パネル展

令和3年11月1日～11月5日 県庁1階壁面



フッ化物洗口普及事業

■ 事業目的

市町村への技術的支援，財政的支援によりフッ化物洗口の円滑な導入を図る。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

技術的支援

- ・ フッ化物洗口マニュアル，啓発媒体，研修資料等の作成及び提供
- ・ フッ化物洗口に関する市町村職員への研修
- ・ その他のフッ化物洗口の円滑な導入手順の確立に必要な支援

財政的支援

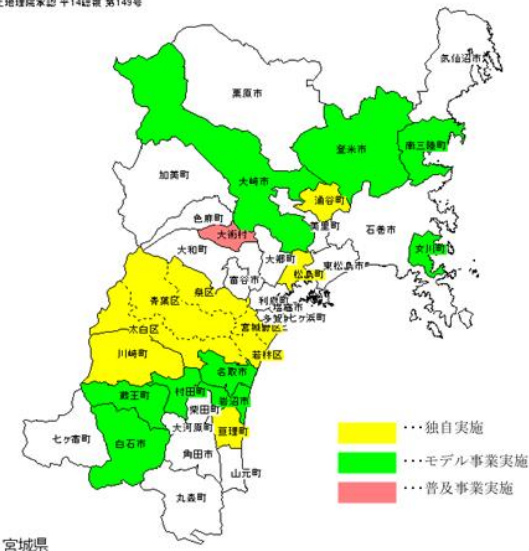
事業の実施に関し市町村が要した経費に係る補助（補助率1/2）

■ 事業実施期間 平成30年度から令和5年度まで（6カ年）

■ 事業実績

- ・ フッ化物洗口導入経費の補助対象を4・5歳児から小・中学校まで拡大
- ・ フッ化物洗口研修動画の作成及び配布
- ・ 宮城県オリジナル歯みがきソング及びフッ化物洗口ソングの作成，配布
- ・ 各市町村への個別支援の強化（Web打ち合わせ，施設説明会に係る技術的支援等）
- ・ フッ化物洗口マニュアル（改定版）の増刷及び配布

国土地理院承認 平14経推 第149号



幼児歯科保健関係者研修会

■ 事業目的

幼稚園・保育園・認定こども園職員，市町村母子保健・歯科保健担当者等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため研修会を実施するもの。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

学童期・思春期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会

■ 事業目的

小中学校教職員（主として保健主事，養護教諭）等に対する研修会を実施し，学童期における歯科口腔保健を推進する。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

「むし歯と肥満」をテーマに教育庁の学校保健研修会と合同でWeb研修を開催

日時：令和3年11月30日（火） 参加者アンケート回答者 81名

講話：「コロナ禍における歯科口腔保健」

講師：東北大学大学院歯学研究科 准教授 山田 亜矢先生

学童期・思春期の歯周病予防啓発事業

■ 事業目的

高等学校の生徒に対し、学校主体のイベント等で歯間清掃用具の体験等を通じた普及啓発を実施することにより、歯周病予防を主とした歯科口腔保健の意識向上を図る。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

・ 県立高校 1 校と特別支援学校 1 校で、歯間清掃用具と啓発チラシを配布した。

・ うち特別支援学校では配布の他、1 年生を対象に講話及び歯間清掃用具の体験実習を実施した。

日時：令和 3 年 1 1 月 1 5 日（月） 参加者 2 5 名



職域に対する歯科保健普及事業

■ 事業目的

働き盛り世代の歯科疾患への予防啓発や職場での歯科保健への取組を図るため、パンフレットを作成し配布するもの。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

啓発パンフレットをコンビニ等に設置・配布（約 3, 0 0 0 部）



働き盛り世代の歯と口腔の健康づくり普及啓発事業

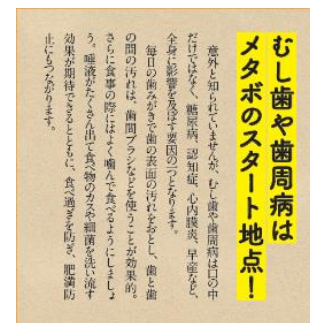
■ 事業目的

働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発を図るため、啓発資料を作成し、配布するもの。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

企業を通じて従業員の方々へ普及啓発資材（オリジナル付箋、啓発リーフレット）を配布するとともに、日頃の歯と口の健康に関する悩みなどについてアンケート調査を実施。



多職種連携プログラム

■ 事業目的

講演会等を通じ、歯と口腔の健康は全身の健康に影響を及ぼすということを情報共有し、広く周知する機会を設けるもの。

■ 事業実績

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業

■ 事業目的

要介護者及び障害児・者の歯と口腔のケアを担う歯科医師，歯科衛生士及び介護等に従事する職員等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため，研修会を実施するもの。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業実績 ※新型コロナウイルス感染症の影響により研修会は中止

平成29年度に作成した「障がいのある方のためのサポートマニュアル」の追加資料として「Q&A集」を作成・周知

障害児親子歯みがき教室

■ 事業目的

障害児・者については，障害児・者自身と保護者による適切なセルフケアの徹底が必要であることから，歯科口腔保健に対する講話及び歯科保健指導を実施し，意識啓発と技術習得を図るもの。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科衛生士会（令和元年度実績）

■ 事業実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

在宅歯科医療連携室整備事業

■ 事業目的

口腔内に問題を抱えている在宅の要介護者・障がい者及びその家族等のニーズに応え、在宅歯科における歯科や介護等の他の分野とも連携を図るための窓口を設置することにより、地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制の構築を図るもの。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業概要

宮城県歯科医師会館内に「みやぎ訪問歯科相談室」を設置し、下記の業務を実施。

- (1) 口腔ケアに関する相談対応
- (2) 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供
- (3) 在宅歯科医療機関への機器の貸出
- (4) 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発

■ 事業実績(R4. 2末実績)

- (1) 口腔ケアに関する相談対応

相談件数： 152件 在宅口腔ケア等実施機関：249件 (R4年2月28日現在)

- (2) 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供

在宅歯科医療機関紹介数：113件

- (3) 在宅歯科医療機関への機器の貸出

在宅歯科医療機器貸出件数：4件

(4) 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発

みやぎ訪問歯科相談室研修会

回数	日時	開催方法	演題及び講師	申込者
第1回	令和4年1月29日(土)	Web形式	「要介護者への口腔ケア提供時の工夫」 宮城県歯科医師会 在宅歯科部会 山崎 猛男先生	75名
第2回	令和4年2月19日(土)	Web形式	「障がい児・者の口から全身の健康を守る」 宮城県歯科医師会 在宅歯科部会 河瀬 聡一朗先生	70名
第3回	令和4年3月12日(土)	Web形式	「口から見える高齢化社会」 宮城県歯科医師会 在宅歯科部会 川村 洋先生	72名

障害児・者歯科保健・医療体制整備事業

■ 事業目的

障害児・者の口腔ケアや歯科治療を行う診療所に対し、人材育成の支援を行うことにより、県内における障害児・者歯科保健医療体制の拡充を推進するもの。

■ 補助対象 一般社団法人 宮城県歯科医師会（補助率2/3）

■ 事業概要

- (1) 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成
- (2) 障害児・者に対する歯科保健医療の提供体制整備に向けた施設整備

■ 事業実績(R4. 2末時点実績)

- (1) 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成

運営会議等

開催回数：8回

検討事項：・人材育成研修会の内容及び反省点について
・次年度の人材育成研修の計画について

等

人材育成研修

開催回数：8回 受講者数：92名

- (2) 障害児・者に対する歯科保健医療の提供体制整備に向けた設備整備

設備整備

整備設備名：バイタルセンサ（生体情報モニタ）1台，
サイコリッチ（混合ガス麻酔器）1台，

在宅及び障害児(者)歯科医療連携室整備推進事業

■ 事業目的

各医療圏に在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、人員の配置及び研修会の実施に補助するもの。

■ 補助対象

一般社団法人 宮城県歯科医師会 (補助率2/3)

■ 事業概要

在宅の要介護者等に対する歯科保健・医療の相談・診療窓口機能を整備するため下記を実施。

- (1) 既存窓口への専門職配置
- (2) 運営委員会の開催

■ 事業実績(R4. 2末時点実績)

- (1) 既存窓口への専門職配置
 - ・みやぎ訪問救急ステーション対応件数
 - 訪問回数：856回 訪問回数中の専門的口腔ケア：416回
- (2) 運営委員会
1回開催
- (3) 歯科医療連携室合同協議会
1回開催

口腔保健支援センター設置・運営事業

■ 事業目的

本県の歯科保健事業の充実・強化を図り、関係機関・団体との連携を強化するため、歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、「口腔保健支援センター」を設置・運営。

■ 組織体制

センター長，副センター長，歯科医師（非常勤職員）1名，歯科衛生士（非常勤職員）1名

■ 事業実績

（1）人材の育成を目的とした研修の実施

市町村歯科保健担当者研修会, 幼児歯科保健関係者研修会
は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

（2）フッ化物洗口普及事業

- ・ フッ化物洗口研修動画の作成及び配布
- ・ 宮城県オリジナル歯みがきソング及びフッ化物洗口ソングの作成・配布
- ・ 各市町村への個別支援の強化（Web打ち合わせ等）
- ・ フッ化物洗口マニュアル（改定版）の増刷・配布

（3）市町村・関係団体との連絡調整

各歯科保健事業の実施に向け，市町村や各関係団体との打ち合わせ等を実施

（4）その他

- ・ 働き盛り世代の歯科保健について企業との意見交換を実施
- ・ 歯間清掃用具体験実習の実施（学童期・思春期の歯周病予防啓発事業）

